

下山健作コレクション甲虫類目録

(5) 水生食肉類・セスジムシ・ナガヒラタムシ

櫛田俊明¹⁾・原裕太郎²⁾

A list of Hydradeephaga, Rhysodinae and Cupedidae (Insecta: Coleoptera)
in the SHIMOYAMA Kensaku Collection at the Aomori Prefectural Museum
KUSHITA Toshiaki and HARA Yutaro

キーワード：下山健作コレクション目録, ミズスマシ科, コガシラミズムシ科, コツブゲンゴロウ科,
ゲンゴロウ科, セスジムシ亜科, ナガヒラタムシ科

はじめに

当館では、在野の昆虫研究者として活躍された下山健作氏（1909～1989年）が収集した昆虫コレクションを一括して収蔵している。それらの標本の多くは未整理なので、2021年度から当館ゲストキュレーターの協力を得ながら、順次整理を進めているところである。

本目録では2023年度にゲストキュレーターの櫛田が同定・調査を行った食肉亜目のうち、水生食肉類（ミズスマシ科、コガシラミズムシ科、コツブゲンゴロウ科、ゲンゴロウ科）と陸生食肉類であるオサムシ科のセスジムシ亜科、及び始原亜目のナガヒラタムシ科について報告するものである。原はデータの確認・追加、本文の加筆訂正を行った。

1 下山健作コレクション・水生食肉類・セスジムシ・ナガヒラタムシの特色

本コレクションでは、ミズスマシ科3種、コガシラミズムシ科1種、コツブゲンゴロウ科1種、ゲンゴロウ科22種、セスジムシ亜科2種、ナガヒラタムシ科1種が確認された。このうち本県で得られたものはミズスマシ科3種5個体（本人採集1種1個体、コガシラミズムシ科1種3個体（すべて本人採集）、ゲンゴロウ科10種42個体（本人採集5種22個体）、セスジムシ亜科2種2個体（すべて本人採集）、ナガヒラタムシ科1種2個体（すべて本人採集）が確認された。

県外で得られたもの（すべて本人以外の採集品）は、大阪府のコガシラミズムシ科1種1個体、コツブゲンゴロウ科1種1個体、ゲンゴロウ科12種14個体、京都府のゲンゴロウ科3種4個体、長野県のゲンゴロウ科1種1個体、新潟県のゲンゴロウ科1種1個体、静岡県のコツブゲンゴロウ科1種8個体、台湾のゲンゴロウ科2種2個体が記録された。

水生食肉類では既報の分類群に比較して下山氏の採集品が少なく、下山氏は水中に生息する水生昆虫はあまり積極的に採られなかったようである（灯火でも同様）。このため、普通種である（あった）ミズスマシ、マメゲンゴロウ、ゲンゴロウ、コシマゲンゴロウ、チビゲンゴロウ等の自身による採集品が欠如して

いる。

水生昆虫は全国的に減少している種類が多く、本目録で確認された本県産種のうち、ミズスマシ、キベリクロヒメゲンゴロウ、クロゲンゴロウ、マルガタゲンゴロウ及びエゾゲンゴロウモドキは、2020年版青森県レッドデータブックの希少野生生物（Cランク）に掲載されている。

それ以外では本県未記録種、絶滅種の発見といった特別に重要な標本は含まれていないものの、山地の自然度の高い環境に生息する種や、今日では生息域が狭まっている種が含まれている。こうした理由から、本コレクションは本県の自然史の一部として、重要な資料となり得るものであろう。

同様に大阪府産種では、キベリクロヒメゲンゴロウとマルガタゲンゴロウは大阪府レッドリスト2014の絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）、キベリマメゲンゴロウとルイスツブゲンゴロウは同じく絶滅危惧Ⅱ類（VU）、シマゲンゴロウとケシゲンゴロウは同じく準絶滅危惧（NT）に掲載されている（大阪府、2014）。また、大阪府のムツボシツヤコツブゲンゴロウは環境省レッドリスト2020の絶滅危惧Ⅱ類（VU）、京都府のシャープツブゲンゴロウは同じく準絶滅危惧（NT）に掲載されている（環境省、2020）。

なお、マルガタゲンゴロウ及びエゾゲンゴロウモドキは、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（種の保存法）に基づく、販売・頒布等を目的とした捕獲や譲渡し等が禁止されている「特定第二種国内希少野生動植物種」に指定されている（環境省、2022）。

2 下山健作コレクション・水生食肉類・セスジムシ・ナガヒラタムシ目録

本目録に使用している種名、分類体系及び掲載順については、水生食肉類及びナガヒラタムシ科では主に『日本昆虫目録 第6巻 鞘翅目（第1部）』（日本昆虫目録編集委員会（編）、2022〔2023〕）に従い、セスジムシ亜科では鈴木（2024）に従っている。ただし、ゲンゴロウ科の一部の和名と学名はヤスイケ（2024）に従った。

掲載した内容は、採集地（個体数、採集年月日、採集者、〔登

1) 青森県立郷土館ゲストキュレーター（〒036-8062 弘前市青山四丁目18-5）

2) 青森県立郷土館 研究主査（〒030-0802 青森市本町二丁目8-14）

録番号])をこの順に載せた。採集地は、青森県内の場合は市町村名から記載し、旧市町村名を現市町村名に直した。県外の場合は、府県名を省略せずに、県内と同様に記した。採集者が不明の場合は「―」とした。これらの標本の収蔵番号は、正式には親番号の[AOPM1937-]に続く子番号とともに表されるが、ここでは親番号を省略し、子番号のみを[]内に記した。また、同じ採集地に複数の日付の採集品がある場合は「;」を挟んで列記した。また、その他の記載があった場合には、※印をつけて採集者の後に載せた。

種の同定は、ゲンゴロウ類(コツブゲンゴロウ科, ゲンゴロウ科)は森・北山(2002)及び中島ほか(2020), ミズスマシ科は中根(1987a, b)及び佐藤(1985b), セスジムシは中根(1973), 佐藤(1985a)及び平野(1987), ナガヒラタムシは中根(1973)及び宮武(1985)を参照して行った。また, ミズスマシ属 *Gyrinus* は各種の外部形態が酷似し, 近縁種との区別には雄交尾器を用いるなど詳細な形態観察が必要であることから(内田・岩田, 2023), 同定には上記以外に, 渡部(2018), 三宅・堤内(2019), 三宅(2024)も参考に, 雄交尾器, 上翅背面や中胸腹板の形状などの形態的特徴を観察した。交尾器の取り出しから写真撮影までの一連の作業は, 佐藤隆志氏にご協力いただいた。記して感謝する。

Coleoptera 鞘翅目(コウチュウ目)

Adephaga 食肉亜目(オサムシ亜目)

Gyrinidae ミズスマシ科

Gyrininae ミズスマシ亜科

1. *Orectochilus (Orectochilus) regimbarti regimbarti* Sharp, 1884
オナガミズスマシ

むつ市大畑町薬研 (1 ex., 1973.7.16, 下山健作, [2486])

2. *Gyrinus (Gyrinus) japonicus* Sharp, 1873

ミズスマシ (ナミミズスマシ)

むつ市近川 (1 ♀, 1982.8.15, 佐藤明, [2487])

3. *Gyrinus (Gyrinus) sachalinensis* Kamiya, 1936

ミヤマミズスマシ

平川市櫛ヶ峯 (1 ♂ 2 ♀, 1964.7.12, 阿部東, [2488~2490])

Halplidae コガシラミズムシ科

1. *Halplus (Halplus) japonicus* Sharp, 1873

クビボソコガシラミズムシ

平川市沖館 (1 ex., 1964.8.3, 下山健作, [2491]), 平川市新屋 (2 exs., 1972.5.6, 下山健作, [2492~2493]), 大阪府大和川 (1 ex., 1939.8.23, 一, [2494])

Noteridae コツブゲンゴロウ科

Noterinae コツブゲンゴロウ亜科

1. *Canthydrus politus* (Sharp, 1873)

ムツボシツヤコツブゲンゴロウ

大阪府堺市西区上野芝町 (1 ex., 1940.10.20, 矢野由雄, [2495])

Dytiscidae ゲンゴロウ科

Agabinae マメゲンゴロウ亜科

1. *Agabus (Acatodes) conspicuus* Sharp, 1873

クロズマメゲンゴロウ

大阪府枚方市牧野 (1 ex., 1939.12.30, 一, [2496])

2. *Agabus (Acatodes) japonicus japonicus* Sharp, 1873

マメゲンゴロウ

十和田市黄瀬谷地 (2 exs., 1964.7.12, 一, [2497~2498]), 弘前市岩木山 (1 ex., 1978.7.27, 成田(現姓櫛田)俊明, [2499]), 新潟県佐渡島 (1 ex., 1940.8.-, 伊賀正汎, [2500])

3. *Ilybius apicalis* Sharp, 1873

キベリクロヒメゲンゴロウ

むつ市近川 (2 exs., 1982.8.19, 佐藤明, [2501~2502]), 大阪府枚方市牧野 (1 ex., 1939.12.30, 一, [2503])

4. *Platambus fimbriatus* Sharp, 1884

キベリマメゲンゴロウ

大阪府猪名川 (2 exs., 1939.10.2, 一, [2504~2505])

5. *Platambus pictipennis* (Sharp, 1873)

モンキマメゲンゴロウ

五所川原市金木町 (1 ex., 1979.7.22, 下山健作, [2506]), むつ市近川 (1 ex., 1982.8.19, 佐藤明, [2507]), 大阪府枚方市牧野 (1 ex., 1939.12.30, 一, [2508])

6. *Platambus sawadai* (Kamiya, 1932)

サワダマメゲンゴロウ

深浦町笹内川 (5 exs., 1978.8.8, 下山健作, [2509~2513]), 佐井村 (1 ex., 1981.7.30, 下山健作, [2514])

Colymbetinae ヒメゲンゴロウ亜科

7. *Rhantus suturalis* (W. S. Macleay, 1825)

ヒメゲンゴロウ

平川市柏木町 (1 ex., 1979.8.15, 下山健作, [2515]; 1 ♀, 1979.9.2, 下山健作, [2516]; 5 exs., 1984.11.11, 下山健作, [2517~2521]; 1 ♀, 1986.8.10, 下山健作, [2522]), 深浦町十二湖 (2 exs., 1964.6.19, 下山健作, [2423~2524]), むつ市近川 (1 ex., 1982.7.30, 佐藤明, [2525]; 4 exs., 1982.8.3, 佐藤明, [2526~2529]), 大阪府大和川, (1 ♂, 1940.2.-, 矢野由雄, [2530])

Cybistrinae ゲンゴロウ亜科

8. *Cybister (Melanectes) brevis* Aubé, 1838

クロゲンゴロウ

平川市沖館 (1 ♂, 1965.4.20, 下山健作, [2531])

Dystiscinae ゲンゴロウモドキ亜科

9. *Acilius (Acilius) japonicus* Brinck, 1939

メスジゲンゴロウ

外ヶ浜町平館野田さい沼 (3 ♂ 1 ♀, 1977.6.11, 下山健作, [2532~2535])

10. *Graphoderus adamsii* (Clark, 1864)

マルガタゲンゴロウ

むつ市近川 (1 ♀, 1982.8.23, 佐藤明, [2536]), 大阪府交野市私市 (1 ex., 1940.3.13, 伊賀正汎, [2537])

11. *Dytiscus marginalis czerskii* Zaitzev, 1953

エゾゲンゴロウモドキ

鰯ヶ沢町櫛石山 (1 ♂, 1984.10.14, 阿部東, [2538])

12. *Eretes griseus* (Fabricius, 1781)

ハイイロゲンゴロウ

大阪府大和川 (1♂1♀, 1939.8.17, 一, [2539・2540])

13. *Hydaticus (Prodatiscus) bowringii* Clark, 1864

シマゲンゴロウ

大阪府大和川 (1♂, 1939.8.23, 一, [2541])

14. *Hydaticus (Prodatiscus) grammicus* (Germar, 1827)

コシマゲンゴロウ

むつ市近川 (1 ex., 1982.7.30, 佐藤明, [2542]; 1♂1♀, 1982.8.3, 佐藤明, ※灯火, [2543・2544]; 2 exs., 1982.8.15, 佐藤明, [2545・2546]; 1 ex., 1982.8.19, 佐藤明, [2547]; 1 ex., 1982.8.23, 佐藤明, [2548]), 大阪府大和川 (1 ex., 1939.9.10, 一, [2549])

15. *Hydaticus (Prodatiscus) rhantoides* Sharp, 1882

ウスイロシマゲンゴロウ

台湾嘉義近郊 Wankyo (1 ex., 1941.5.18, 矢野由雄, [2550])

16. *Hydaticus (Prodatiscus) vittatus* (Fabricius, 1775)

オキナワスジゲンゴロウ

台湾埔里 (1 ex., 1938.8.26, 一, [2551])

Hydroporinae ケシゲンゴロウ亜科17. *Hydroglyphus japonicus* (Sharp, 1873)

チビゲンゴロウ

大阪府大和川 (1 ex., 1939.8.17, 一, [2552]), 京都府京都市右京区嵯峨 (1 ex., 1939.8.4, 一, [2553])

18. *Nebrioporus nipponicus* (Takizawa, 1933)

ヒメシマチビゲンゴロウ

静岡県安倍川 (8 exs., 1940.1.13, 一, [2554~2561])

19. *Neonectes natrix* (Sharp, 1884)

ゴマダラチビゲンゴロウ

長野県松本市 (1 ex., 1939.10.4, 一, [2562])

20. *Hyphydrus japonicus japonicus* Sharp, 1873

ケシゲンゴロウ

大阪府大和川 (1 ex., 1939.8.17, 一, [2563]), 京都府京都市右京区嵯峨 (1 ex., 1939.8.5, 一, [2564])

Laccophilinae ツブゲンゴロウ亜科21. *Laccophilus lewisii* Sharp, 1873

ルイスツブゲンゴロウ

大阪府堺市西区上野芝町 (1 ex., 1940.3.28, 伊賀正汎, [2565])

22. *Laccophilus sharpi* Régimbart, 1889

シャープツブゲンゴロウ (アヤナミツブゲンゴロウ)

京都府京都市右京区嵯峨 (2 exs., 1939.8.4, 一, [2566・2567])

Carabidae オサムシ科**Rhysodinae** セスジムシ亜科

セスジムシは、以前は独立したセスジムシ科 *Rhysodidae* とされていたが (中根, 1973; 佐藤, 1985a; 平野, 1987; Huber *et al.*, 2017), 現在は分子系統解析に基づいて, オサムシ科のセスジムシ亜科とされる (Vasilakopoulos *et al.*, 2021; Cai *et al.*, 2022).

1. *Yamatosa nipponensis* (Lewis, 1888)

ホソセスジムシ (ニホンセスジムシ)

中泊町小泊冬部 (1 ex., 1974.8.19, 下山健作, [2568])

2. *Rhysodes comes* (Lewis, 1888)

トビイロセスジムシ

中泊町小泊冬部 (1 ex., 1974.8.19, 下山健作, [2569])

Archostemata 始原亜目 (ナガヒラタムシ亜目)**Cupedidae** ナガヒラタムシ科**Cupedinae** ナガヒラタムシ亜科1. *Tenomerga mucida* (Chevrolat, 1829)

ナガヒラタムシ

深浦町十二湖 (1 ex., 1965.8.14, 下山健作, [2570]), 弘前市湯口湯口山 (1 ex., 1985.7.28, 下山健作, [2571])

引用文献

- Cai, C., Tihelka, E., Giacomelli, M., Lawrence, J.F., Ślipiński, A., Kundrata, R., Yamamoto, S., Thayer, M.K., Newton, A.F., Leschen, R.A.B., Gimmel, M.L., Lü, L., Engel, M.S., Bouchard, P., Huang, D., Pisani, D. & Donoghue, P.C.J. (2022) Supplementary material from "Integrated phylo-genomics and fossil data illuminate the evolution of beetles". 98 pp. The Royal Society. Collection.
<https://doi.org/10.6084/m9.figshare.c.5894006.v2>
- 平野幸彦 (1987) 神奈川県産セスジムシ科 5 種について. 神奈川虫報, (82): 1-6.
- Huber, C., Marggi, W. & Löbl, I. (2017) Family Rhysodidae Laporte, 1840. In: Löbl, I. & Löbl, D. (Eds.), Catalogue of Palaearctic Coleoptera, Vol. 1. Archostemata - Myxophaga - Adephaga. Revised and Updated Edition, pp. 29-31. Brill, Leiden and Boston.
- 環境省 (2020) 環境省レッドリスト 2020 の公表について. 2020 年 3 月 27 日報道発表資料. 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室. 環境省ホームページ.
<https://www.env.go.jp/press/107905.html>
- 環境省 (2022) 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律施行令の一部を改正する政令」の閣議決定について (国内希少野生動植物種の指定等). 2022 年 12 月 20 日報道発表資料. 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室. 環境省ホームページ https://www.env.go.jp/press/press_00977.html
- 森 正人・北山 昭 (2002) 改訂版図説日本のゲンゴロウ. 231 pp. 文一総合出版, 東京.
- 三宅 武 (2024) ユウスイミズスマシ (仮称) 予報. 月刊むし, (636): 37-41.
- 三宅 武・堤内雄二 (2019) ニッポンミズスマシの追跡. さやばねニューシリーズ, (33): 31-34.
- 中島 淳・林 成多・石田和男・北野 忠・吉富博之 (2020) ネイチャーガイド日本の水生昆虫. 351 pp. 文一総合出版, 東京.
- 宮武睦夫 (1985) ナガヒラタムシ科. 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝 (編), 原色日本甲虫図鑑 (II), pp. 1-2, pl. 1. 保育社, 大阪.
- 中根猛彦 (1973) 新シリーズ日本の甲虫 (1) ながひらたむし科・セスじむし科. 昆虫と自然, 8(9): 2-5.
- 中根猛彦 (1987a) 新シリーズ日本の甲虫 (81) みずすまし科. 昆虫と自然, 22(12): 36-40.

- 中根猛彦 (1987b) 新シリーズ日本の甲虫 (82) みずすまし科. 昆虫と自然, 22 (13) : 27–29.
- 大阪生物多様性保全ネットワーク編 (2014) 昆虫類. 大阪府レッドリスト 2014, pp. 14–20. 環境農林水産部みどり・都市環境室 みどり推進課. <https://www.pref.osaka.lg.jp/midori/tayouseipartner/redlist.html> (2024 年 11 月 8 日閲覧)
- 佐藤正孝 (1985a) セスジムシ科. 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝 (編), 原色日本甲虫図鑑 (II), pp. 2–4, pl. 1. 保育社, 大阪.
- 佐藤正孝 (1985b) ミズスマシ科. 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝 (編), 原色日本甲虫図鑑 (II), pp. 201–203, pl. 37. 保育社, 大阪.
- 鈴木 茂 (2024) 日本列島の甲虫全種目録 (2024 年). <https://japanesebeetles.jimdo.free.com/> (2024 年 11 月 18 日閲覧)
- 内田大貴・岩田泰幸 (2023) 埼玉県熊谷市における採集標本の検討に基づくコミズスマシの記録. 埼玉県立自然の博物館研究報告, (17) : 101–104.
- ヤスイケキョウ (2019～) 基礎ゲンゴロウ学—Introduction to Gengology—. <https://gengology.com/> (2024 年 11 月 8 日閲覧)
- 吉富博之 (2022 [2023a]) Family Cupedidae ナガヒラタムシ科. 日本昆虫目録編集委員会 (編), 日本昆虫目録 第 6 巻 鞘翅目

- (第 1 部), p. 1. 櫛歌書房, 福岡.
- 吉富博之 (2022 [2023b]) Family Gyrinidae ミズスマシ科. 日本昆虫目録編集委員会 (編), 日本昆虫目録 第 6 巻 鞘翅目 (第 1 部), pp. 2–4. 櫛歌書房, 福岡.
- 吉富博之 (2022 [2023c]) Family Halplidae コガシラミズムシ科. 日本昆虫目録編集委員会 (編), 日本昆虫目録 第 6 巻 鞘翅目 (第 1 部), pp. 4–5. 櫛歌書房, 福岡.
- 吉富博之 (2022 [2023d]) Family Noteridae コツブゲンゴロウ科. 日本昆虫目録編集委員会 (編), 日本昆虫目録 第 6 巻 鞘翅目 (第 1 部), pp. 6–7. 櫛歌書房, 福岡.
- 渡部晃平 (2018) 石川県のミズスマシ科. さやばねニューシリーズ, (30) : 36–43.
- 渡部晃平・吉富博之 (2022 [2023]) Family Dytiscidae ゲンゴロウ科. 日本昆虫目録編集委員会 (編), 日本昆虫目録 第 6 巻 鞘翅目 (第 1 部), pp. 8–27. 櫛歌書房, 福岡.
- Vasilikopoulos, A., Balke, M., Kukowka, S., Pflug, J.M., Martin, S., Meusemann, K., Hendrich, L., Mayer, C., Maddison, D.R., Niehuis, O., Beutel, R.G. & Misof, B. (2021) Phylogenomic analyses clarify the pattern of evolution of Adephaga (Coleoptera) and highlight phylogenetic artefacts due to model misspecification and excessive data trimming. Systematic Entomology, 46: 991–1018.



図 1. 青森県産ミズスマシ属 *Gyrinus* の背面図

- 1: 南八甲田・櫛ヶ峯産ミヤマミズスマシ♂,
2: 同ミヤマミズスマシ♀,
3: 同ミヤマミズスマシ♀,
4: むつ市近川産ミズスマシ♀.

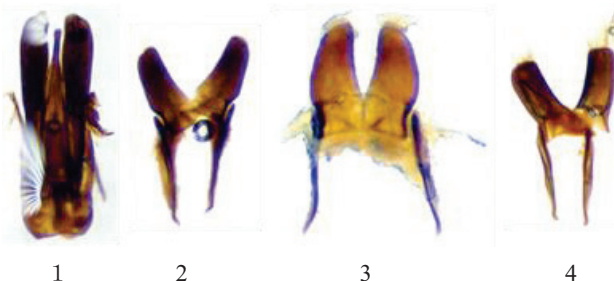


図 2. 青森県産ミズスマシ属 *Gyrinus* の交尾器

- 1: 南八甲田・櫛ヶ峯産ミヤマミズスマシ♂,
2: 同ミヤマミズスマシ♀,
3: 同ミヤマミズスマシ♀,
4: むつ市近川産ミズスマシ♀.

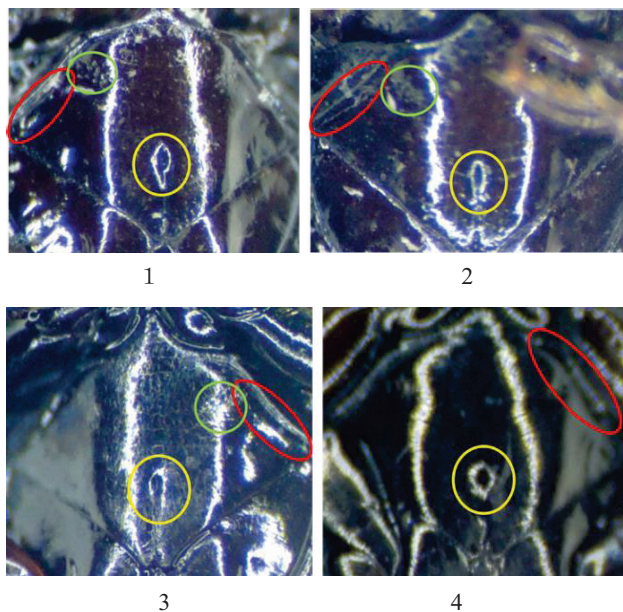


図 3. 青森県産ミズスマシ属 *Gyrinus* の中胸腹板

- 1: 南八甲田・櫛ヶ峯産ミヤマミズスマシ♂,
2: 同ミヤマミズスマシ♀,
3: 同ミヤマミズスマシ♀,
4: むつ市近川産ミズスマシ♀.

赤丸内は中胸腹板両端の前縁側, 黄丸内は中胸腹板中央部やや後方に見られる円形の凹み, 緑丸内は中胸腹板の前側方の点刻を示す.